

シャトル北大阪通信

2020年7月1日発行
 (株)ダスキンシャトル北大阪

通算 133 号

ウィズコロナ 緊急事態宣言、他府県への移動 自粛も解除された今！

5月25日に全国の緊急事態宣言が解除され、徐々に経済活動が再開されてきました。シャトルが訪問する大型商業施設や飲食店、アパレル関係などほとんどのお客様も、営業を再開されています。新しい生活様式を取り入れて感染防止に努めておられ、今までと同じではダメだと痛感させられます。お客様もそうですが、我々のレンタルもコロナウイルスに感染しない、感染させない為に変化が必要になってきました。

緊急事態宣言前と緊急事態宣言解除後の比較

大阪・京都・神戸3店合計

土曜ルートは計算から除外

	年月日	実績売上金額	年月日	実績売上金額	売上差異	増減率	
C月	20200309	5,934,196	20200601	5,726,831	-207,365	-3.5%	C月
C火	20200310	8,980,127	20200602	8,378,866	-601,261	-6.7%	C火
C水	20200311	2,992,127	20200603	2,590,910	-401,217	-13.4%	C水
C木	20200312	9,272,179	20200604	9,069,980	-202,199	-2.2%	C木
C金	20200313	9,601,655	20200605	8,836,304	-765,351	-8.0%	C金
D月	20200316	6,034,480	20200608	5,780,184	-254,296	-4.2%	D月
D火	20200317	9,132,267	20200609	8,645,097	-487,170	-5.3%	D火
D水	20200318	2,661,904	20200610	2,887,556	225,652	8.5%	D水
D木	20200319	8,705,894	20200611	9,078,682	372,788	4.3%	D木
D金	20200320	8,932,771	20200612	8,548,454	-384,317	-4.3%	D金
A月	20200323	5,799,166	20200615	5,487,857	-311,309	-5.4%	A月
A火	20200324	8,803,622	20200616	8,018,490	-785,132	-8.9%	A火
A水	20200325	2,867,309	20200617	2,701,277	-166,032	-5.8%	A水
A木	20200326	8,730,329	20200618	8,357,263	-373,066	-4.3%	A木
A金	20200327	8,792,094	20200619	8,287,468	-504,626	-5.7%	A金
B月	20200330	6,270,854	20200623	6,014,436	-256,418	-4.1%	B月
B火	20200331	8,489,947	20200623	8,458,208	-31,739	-0.4%	B火
B水	20200401	3,081,489	20200624	2,911,595	-169,894	-5.5%	B水
B木	20200402	9,298,873	20200625	8,628,371	-670,502	-7.2%	B木
B金	20200403	8,777,255	20200626	8,178,489	-598,766	-6.8%	B金
		143,158,538		136,586,318	-6,572,220	-4.6%	



除菌・抗菌効果のあるマットやモップ、その他の衛生商品を積極的におすすめしていく事が、ダスキンとしてお客様に寄り添う事になると思います。

緊急事態宣言前の3月と解除後の6月の売上比較で、大阪・京都・神戸の3店合計で増減は▲657万円となっており、増減率ではマイナス4.6%になっています。4月が▲2,220万円、5月が▲1,940万円というところから比べると大幅に改善されていますが、本来の売上に戻すには相当時間が掛かると思われます。営業形態は以前と違い、ソーシャルディスタンスを確保した座席数に変更しなくてはならず、集客の絶対数が減っている事でしょう。毎日営業から週末だけの営業に変更されるお客様や、開店時間を遅くし閉店時間を早めるなどの短営業をされているお客様も多くあります。このような状況が長く続けば、やはり経費の見直しで、減少や商品交換のサイクル変更なども懸念されます。しかし、こんな時だからこそ出来ることを考えていく必要があります。

各拠点別売上比較

緊急事態	3/9~4/3	4/6~4/30	5/1~5/29	6/1~6/26	宣言前と解除後の売上差異	
	宣言前	宣言中	宣言中	解除後	売上差異	増減率
大阪	95,883,059	80,510,208	82,888,801	90,962,559	-4,920,500	-5.1%
京都	16,799,182	15,171,000	14,608,254	16,328,878	-470,304	-2.8%
神戸	30,476,297	25,212,101	26,214,057	29,294,881	-1,181,416	-3.9%

一概にコロナの影響だけとは言えませんが、4月、5月の解約減少は各店の例年と比較すると若干高めで推移している状態です。

(大阪)
 4月の解約減少 115万円
 5月の解約減少 93万円
 (京都)
 4月の解約減少 11万円
 5月の解約減少 12万円
 (神戸)
 4月の解約減少 27万円
 5月の解約減少 24万円

毎日の検温や出社時・帰社時・お客様先でのアルコール消毒、手洗い、マスク着用はもはや当たり前になりましたね。暑い時期になってきましたが、対策を徹底してお客様が安心できるレンタルサービスを続けていきます。

